SANEI

T-EK500-13-A4 BBF

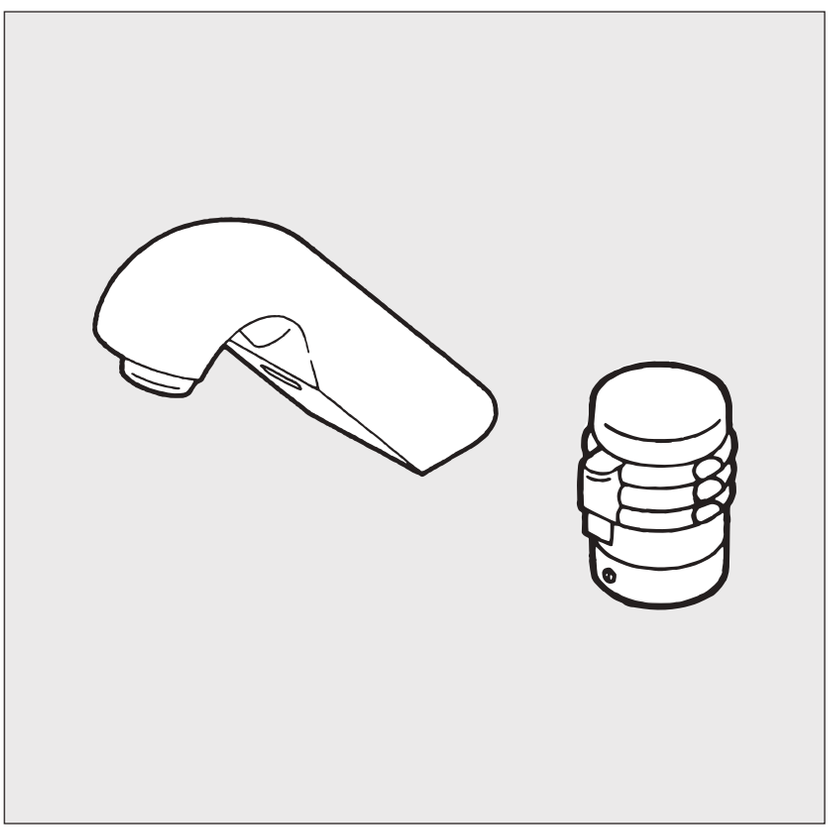
保証書付

サーモ付自動混合栓

EK500-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について
各部の名称 …… 1
寸法図 …… 2

施工について
施工に関する安全上のご注意…… 3〜4
適切な使用条件……5
施工前のご注意……5
梱包明細 …… 6
施工手順……7〜12

ご使用について
ご使用に関する安全上のご注意…… 13〜16
吐水・止水……17
温度調節方法……17〜18
器具の温度調節方法 …… 18
電池の取替え……19〜20
流量調節 ……20
凍結予防……20

日頃のお手入れ
汚れの拭き取り……20
ストレーナ付逆止弁・吐水口の掃除‥21
センサー窓の掃除……21

定期的な点検・部品交換
可動部分の点検 …… 22
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ‥22
ストレーナ付逆止弁の交換時期 …… 22

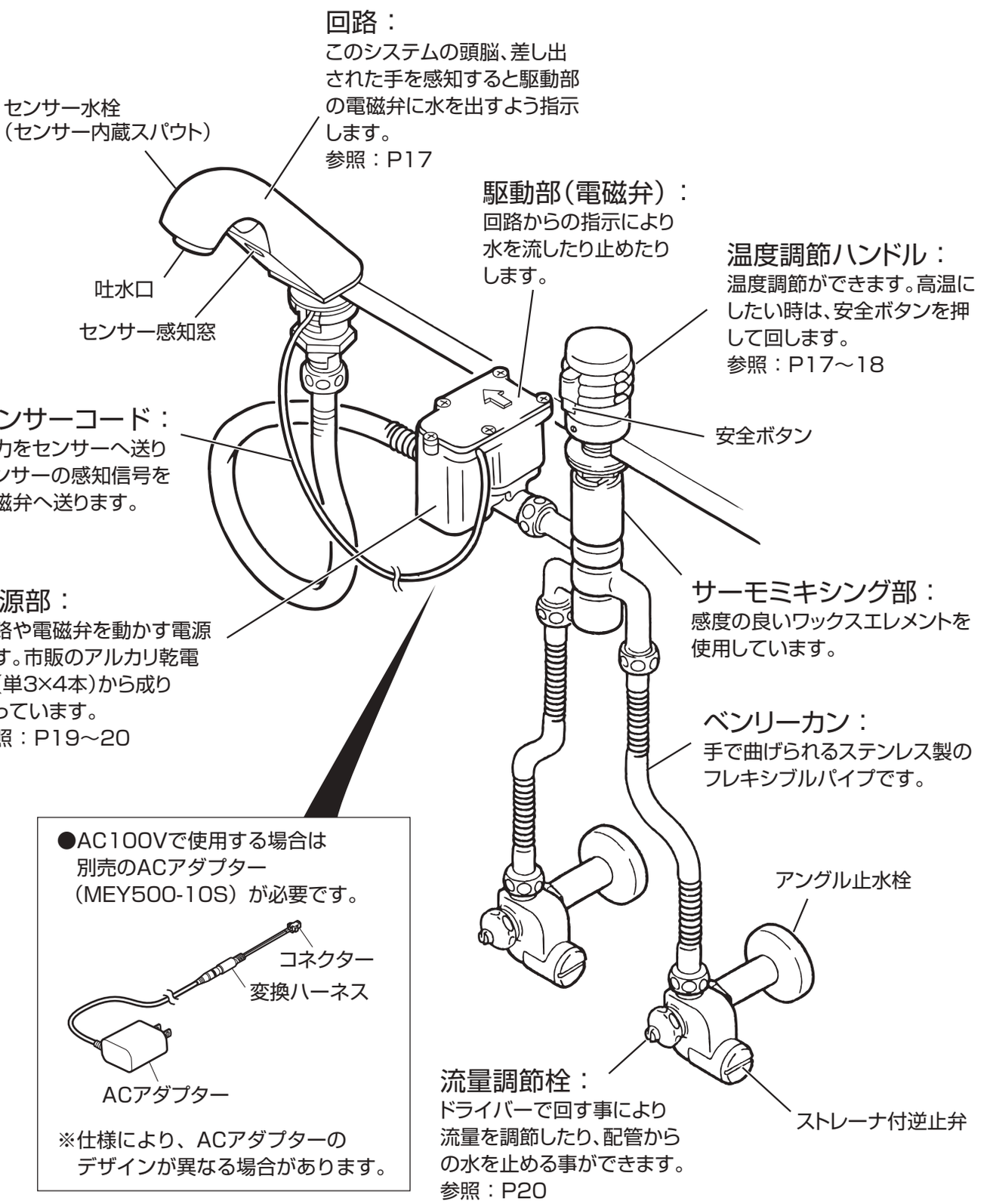
こんなときは
故障？　その前に ……23
本製品の構造 ……24

その他
仕様……24

保証とアフターサービス
保証とアフターサービス…… 26
保証書……裏紙

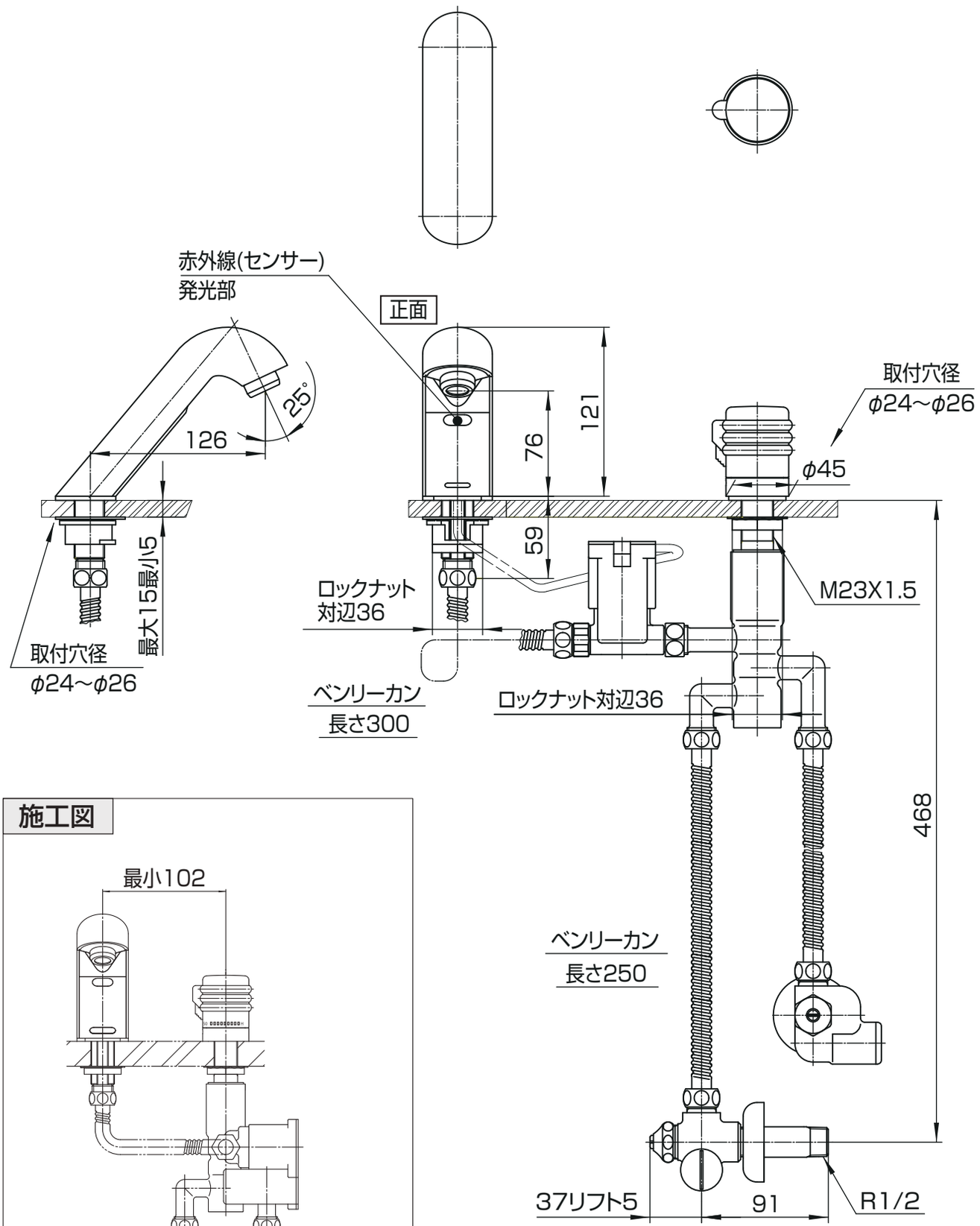
本製品について　各部の名称

●本製品は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。
●全自動システム‥‥ 赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止水します。
●市販アルカリ
乾電池使用‥‥‥ 乾電池は市販のアルカリ乾電池（単3×4本）を使用しているので入手が容易です。
●長寿命‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥1日に100回の使用で、乾電池寿命は約2年間です。
（乾電池の特性上、周囲温度が低い場合には、2年以内でも作動しなくなる場合があります。
また、同梱の乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取り替えください。）

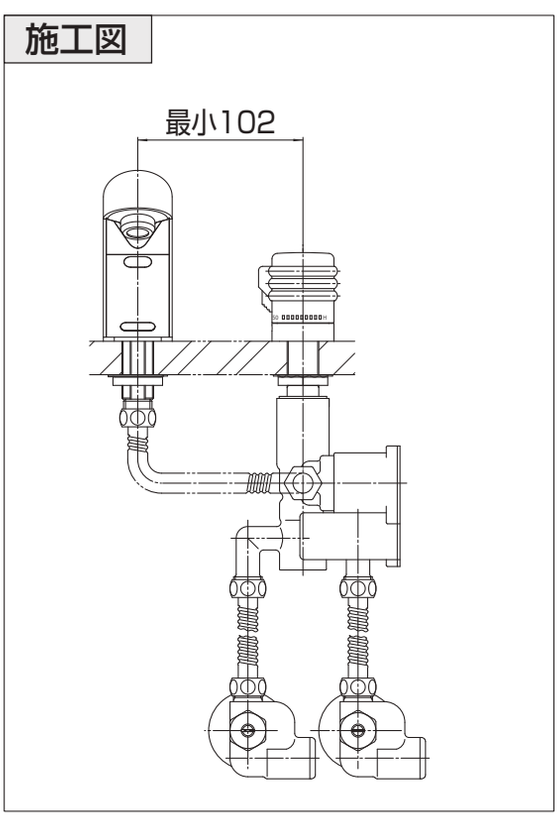


本製品について　寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



施工図



施工について　施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

「分解してはいけません！」

「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」

「濡れた手でさわってはいけません！」

「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。

同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

湯水は逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。

給湯温度は50℃より高温で使用しないでください。
50℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ付逆止弁の掃除をする際は、いきなりストレーナ付逆止弁をゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P22

目盛通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。
使用条件によっては目盛通りの湯が出ず、やけどをするすることがあります。

（ACアダプター［別売］使用の場合）
電源は交流100V以外は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

（ACアダプター［別売］使用の場合）
コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。
火災の原因になります。

⚠警告

(ACアダプター[別売]使用の場合)
漏電のおそれがある場合は漏電保護プラグ[別売]を使用してください。
火災や感電の原因になります。

コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。
特にACアダプター[別売]使用の場合は、故障や感電の原因になります。

浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電の原因になります。

(ACアダプター[別売]使用の場合)
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
火災や感電の原因になります。

(ACアダプター[別売]使用の場合)
電源コードをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。
火災や感電の原因になります。

製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
特にACアダプター[別売]使用の場合は、火災や感電の原因になります。

(ACアダプター[別売]使用の場合)
雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。
感電の原因になります。

(ACアダプター[別売]使用の場合)
ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。

⚠注意

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。

直射日光の当る場所には設置しないでください。
誤作動の原因になります。

ステンレス製や鏡面の洗面器には取付けないでください。
誤作動の原因になります。

センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。

施工について　適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
●給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
●給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔使用温度について〕

使用最高温度	50℃以下

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

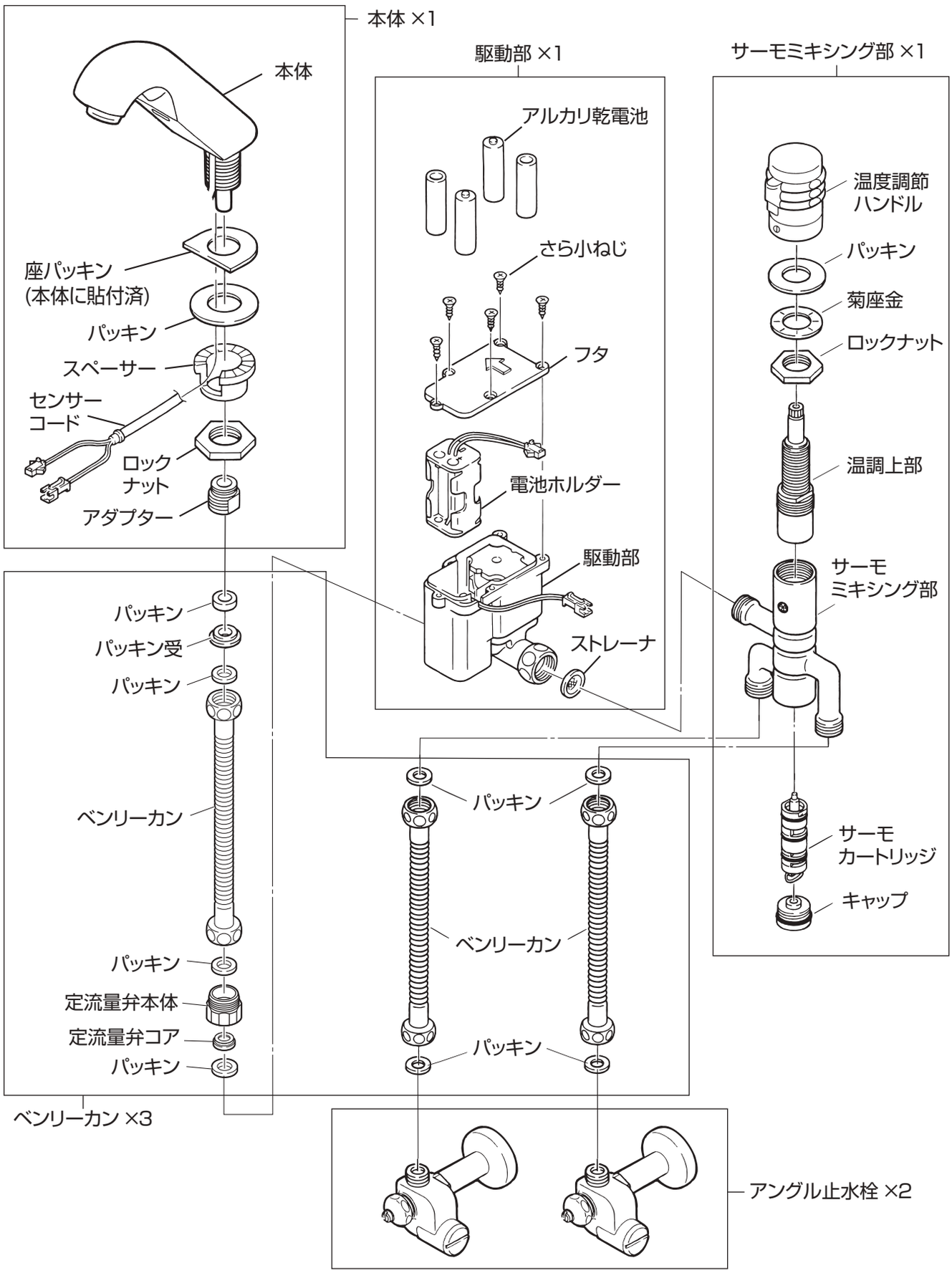
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用（飲用不可）

施工について　施工前のご注意

●給水は、上水道に接続してください。
●開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
● 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。**

施工について　梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1
●「使用方法」ラベル ×1



●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

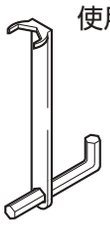
施工について　施工手順

主な工具類

■ ナット締付工具：
水栓取付足のロックナットを回す時に必要です。

■ 古い水栓を取はずす場合

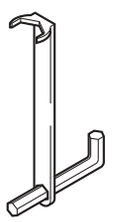
使用する工具の例



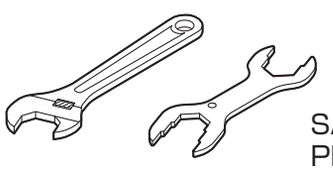
※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。

■ 本製品を取付ける場合

ナット締付工具
SANEI品番：R352
（ナット締付工具）

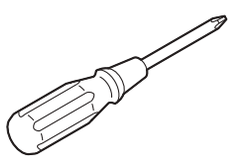


■ スパナ・モンキーレンチなど：
接続金具のナットや袋ナットが回せる工具。



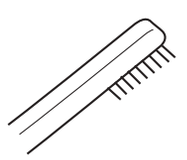
SANEI品番：
PR3350
(水栓スパナ)

■ プラスドライバー：
駆動部のフタをはずす時に必要です。



■ 手袋：
ケガ防止のために着用してください。

■ 使い古しのハブラシなど：
取付穴周囲などの掃除ができるもの。



■ タオルなど：
ケガ防止や水栓保護のために使用します。

■ ぞうきんなど：
配管中の残り水を拭くのに使用します。

1　配管内の掃除をします。

注　意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、
必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。
（元栓の開閉はP23を参照してください。）

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。

2　新しい水栓を取付けます。

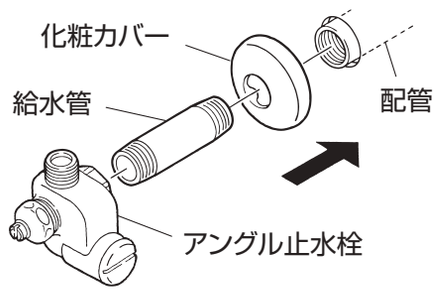
⚠ 注意

●センサー感知窓や電源部とコード接続部が水に濡れたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。
●本製品のセンサーが正確に洗面器などを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けないでください。

（1）　アングル止水栓に給水管を取付け、化粧カバーを通し、給水・給湯配管に取付けてください。

⚠ 注意

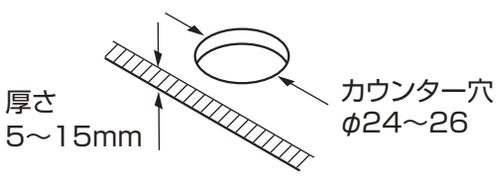
必ずシールテープを巻いてください。



（2）　カウンター穴の寸法の確認を行ってください。

⚠ 注意

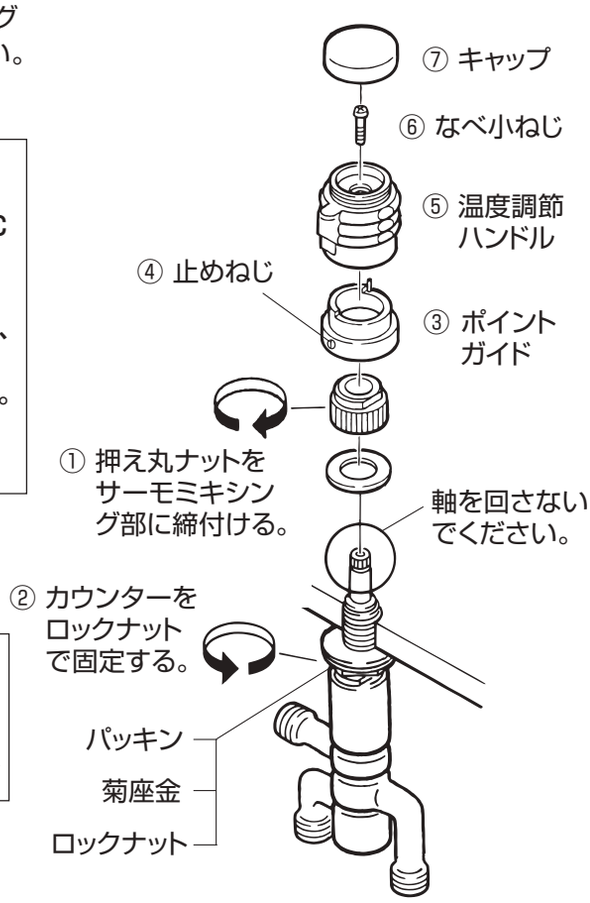
カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。



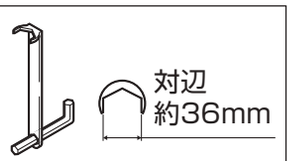
（3）　温度調節ハンドルの安全ボタン部とサーモミキシング部が正面を向くように、締付工具で固定してください。

⚠ 注意

●サーモミキシング部の軸を回さないようにしてください。サーモスタットは工場出荷時に、40℃に調整してあります。軸が回った場合は吐水温度の調整が必要です。 参照：P18
●サーモミキシング部をカウンターに取付ける際は、押え丸ナットをサーモミキシング部に締付けてからカウンターをロックナットで固定してください。手順を間違えると温度調節ハンドルが回らなくなるおそれがあります。

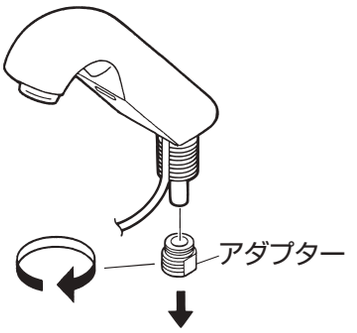


ナット締付工具
SANEI品番：R352
（ナット締付工具）



（4） センサー水栓（センサー内蔵スパウト）を取付けます。

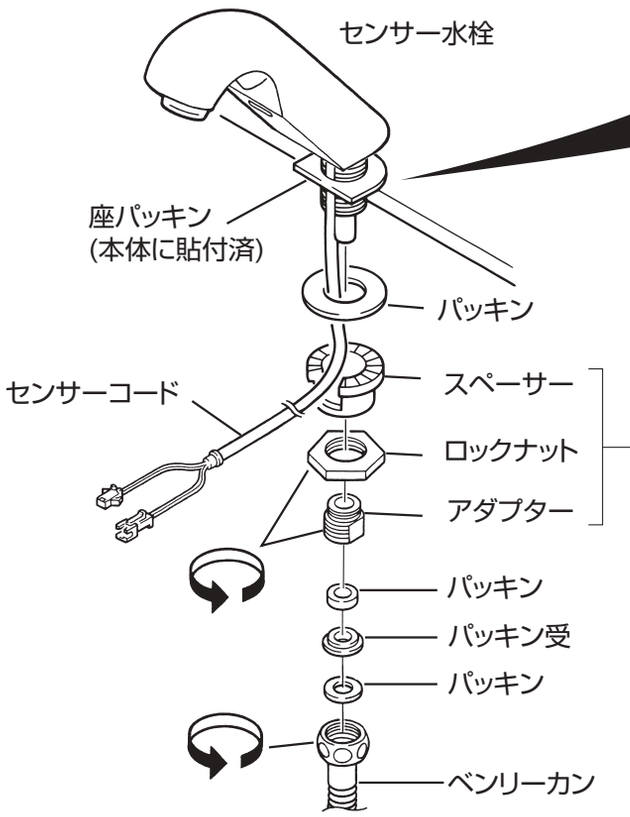
① アダプターをはずしてください。



⚠ 注意

- アダプターをはずさないと、パッキン・スペーサーを取付ける事ができません。
- パッキン・パッキン受のはずれにご注意ください。

② 本体が正面を向くように締付工具で固定してください。



⚠ 注意

- カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれると漏水の原因になります。
- 水栓本体に浮きがないよう注意してください。

⚠ 注意

スペーサー・ロックナット・アダプターにセンサーコードを通さないでください。

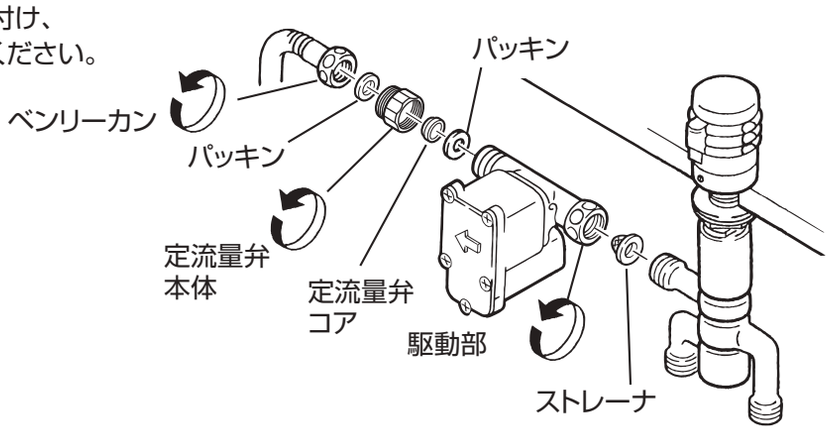
ナット締付工具
SANEI品番：R352
（ナット締付工具）

⚠ 注意

- ベンリーカンを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。
- 本体とコード類のかみ込みに注意してください。

3 駆動部とベンリーカンを取付けます。

駆動部をサーモミキシング部に取付け、
ベンリーカンを駆動部に取付けてください。



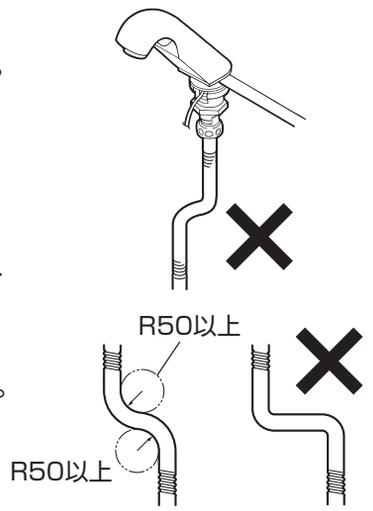
⚠ 注意

- ゆるみがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- ベンリーカンの折れにご注意ください。
- 定流量弁本体から定流量弁コアが落ちないように取付けてください。

⚠ 注意

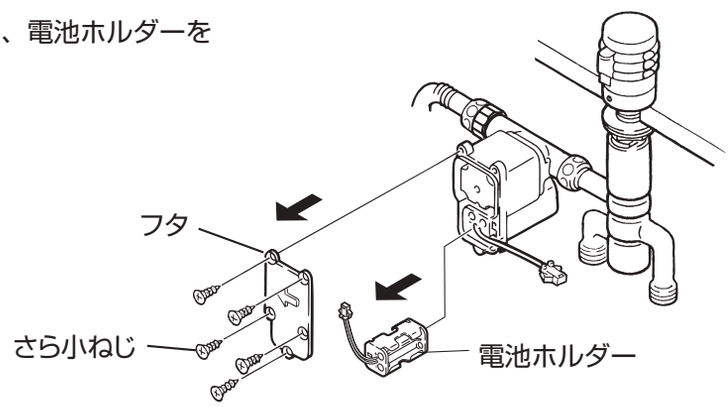
ベンリーカン施工上の注意点

●ベンリーカンを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。
●ベンリーカンの折れにご注意ください。
　ベンリーカンの最小曲げ半径は50mmです。
　それよりも小さく曲げて使用しますと、ベンリーカンが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
●ベンリーカンの不要な接触は避けてください。
　摩耗による外傷でベンリーカン性能の劣化の可能性がありますので避けてください。
　ベンリーカンが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
●ベンリーカンを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
　ベンリーカンが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
●ベンリーカンを無理に引っ張らないでください。
　ベンリーカンが折れる可能性があります。

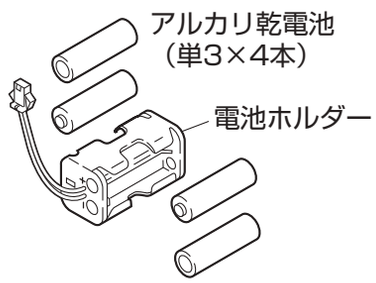


4　コネクターを接続します。

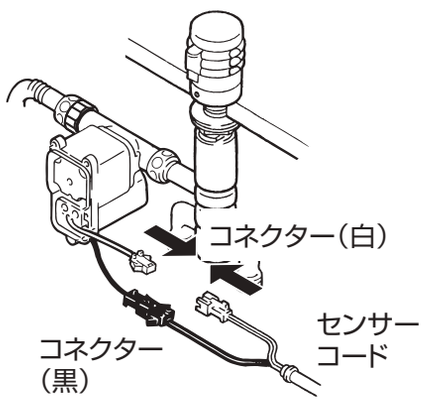
（1） 駆動部のフタをはずし、電池ホルダーを引き出してください。

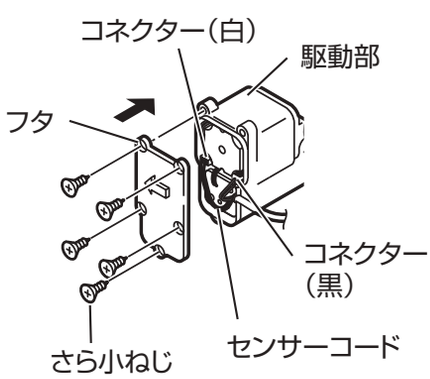


（2） 電池ホルダーにアルカリ乾電池（4本）を入れ、電池ホルダーを戻してください。



（3） コネクターを接続し収納した後、フタを取付けてください。



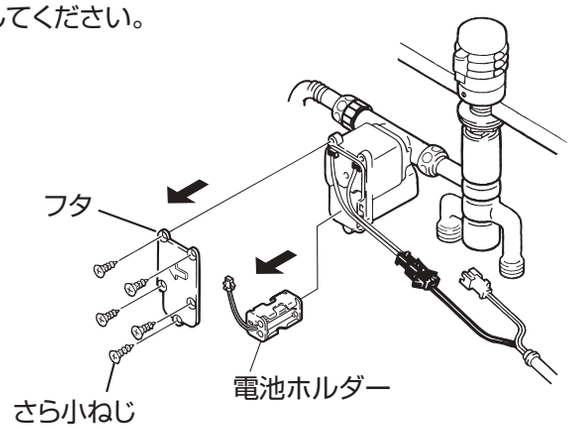


⚠ 注意

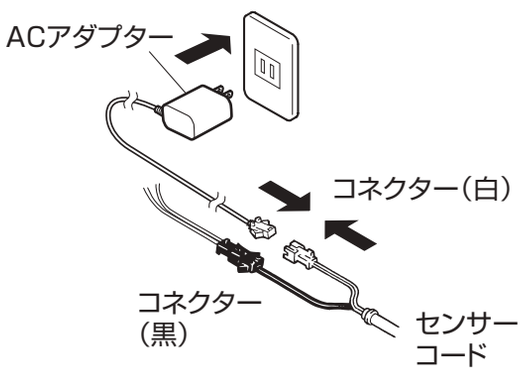
センサーコード接続時、コネクターは必ず駆動部内部に収納してください。

■ ACアダプター(別売)使用の場合

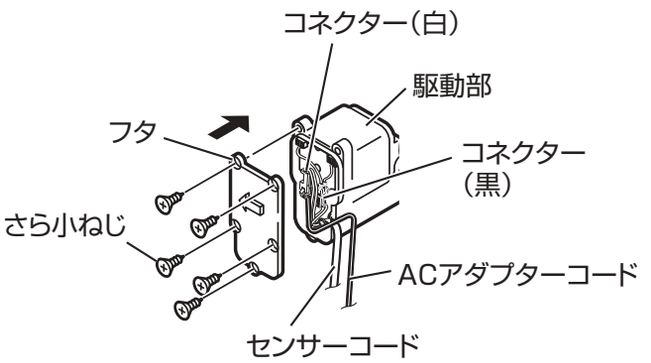
（1） 電池ホルダーをはずしてください。



（2） ACアダプターを接続してください。



※仕様により、ACアダプターの
デザインが異なる場合があります。



⚠ 注意

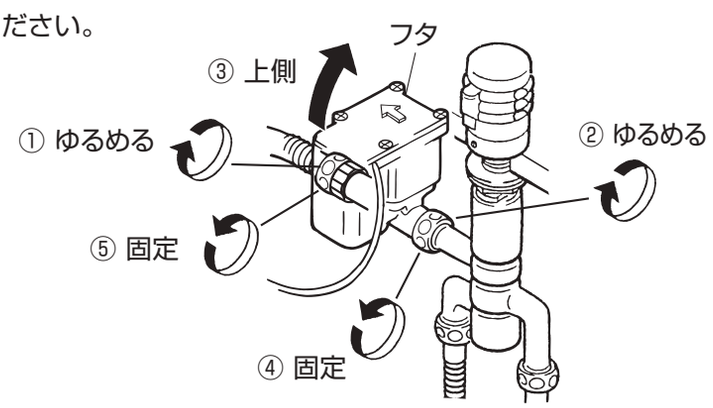
**センサーコード・ACアダプターコード接続時、
コネクターは必ず駆動部内部に収納してください。**

（4） コネクター接続後、赤ランプが3回点滅した後、消灯します。

⚠ 注意

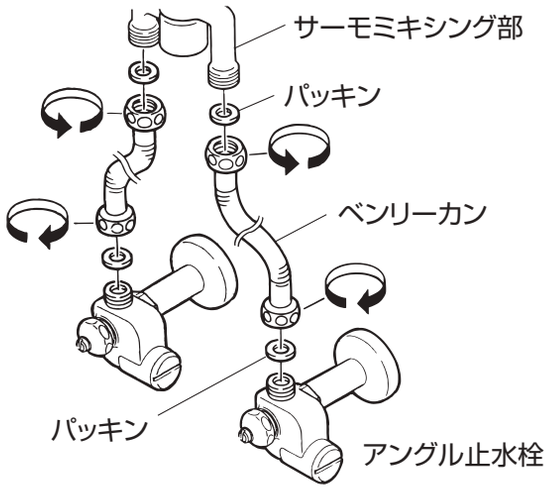
**赤ランプ点滅中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。
誤作動の原因になります。**

（5） フタのついた面を上にして固定してください。



5　アングル止水栓へ連結します。

サーモミキシング部とアングル止水栓を連結してください。

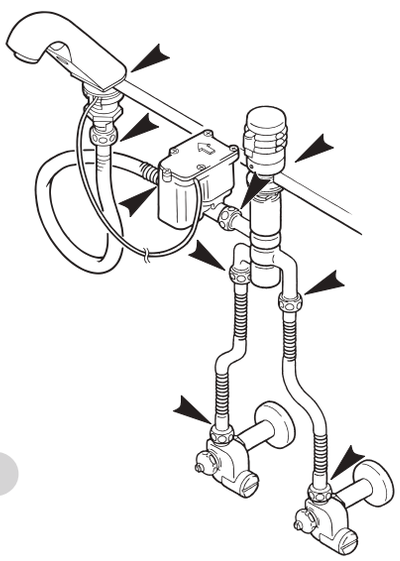


⚠ 注意

ベンリーカンの折れにご注意ください。

6　ガタツキ・水漏れチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。
ガタツキの確認後、止水栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

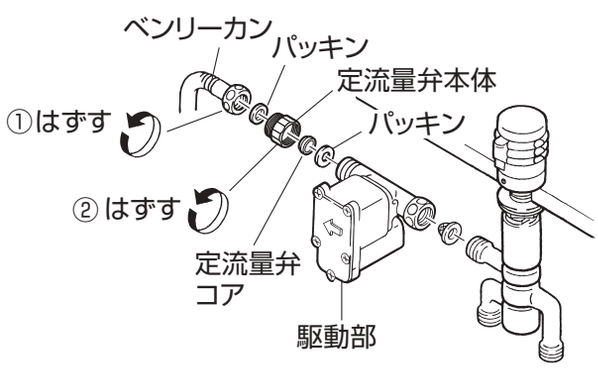


7　流量の調節をします。

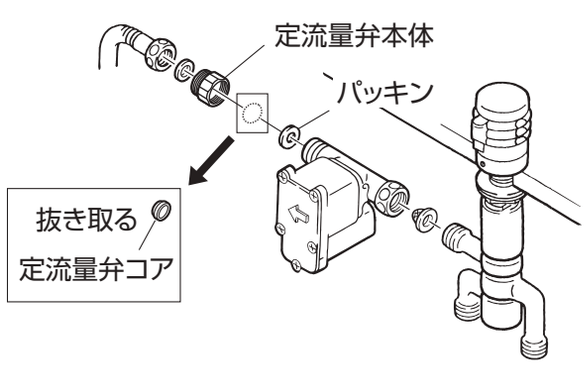
定流量弁が内蔵されているため流量の調節は必要ありませんが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量が得られない場合は、定流量弁を取りはずして流量調節栓で流量を調節してください。

■ 定流量弁をとりはずす場合

（1） 下記の手順でベンリーカン・定流量弁をはずします。
①ベンリーカンを定流量弁本体からはずす。
②定流量弁本体を駆動部からはずす。



（2） 定流量弁コアを抜き取ります。



（3） 部品を逆の手順で取付けます。
参照：P9 手順3

（4） 流量調節栓で流量を調節します。

⚠ 注意

パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

ご使用について　ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

「濡れた手で触れてはいけません！」

「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

「分解してはいけません！」

「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」

「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

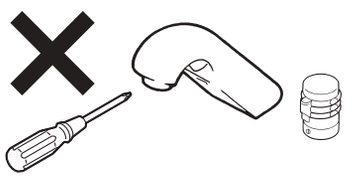
「指示した場所に触れてはいけません！」

「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

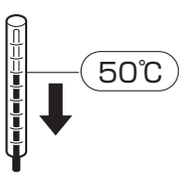
⚠警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

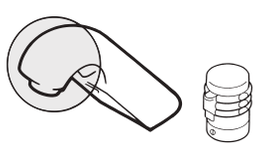
分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



給湯温度は最高50℃までてお使いください。
50℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～50℃給湯をおすすめします。

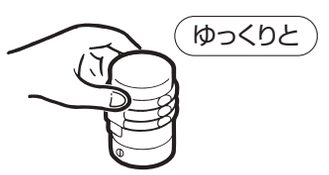


高温の湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。



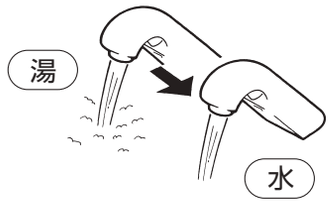
温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇する事がありますので、ハンドルはゆっくり回してください。
やけどをするおそれがあります。



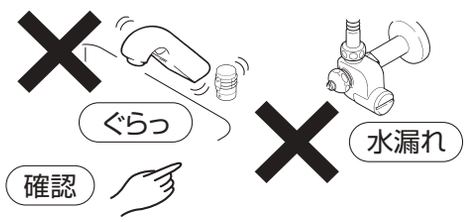
⚠警告

高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

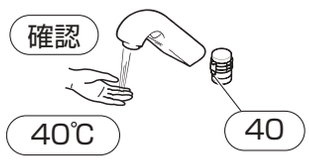


使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴びやけどをするおそれがあります。

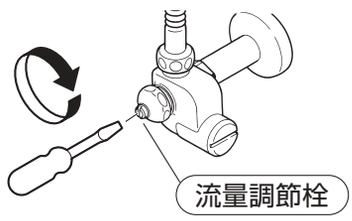
定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



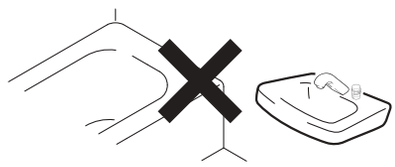
凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り”40”と吐水温度が合っているか確認してください。
凍結すると、本体内部の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



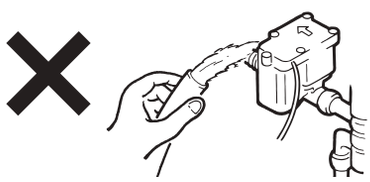
ストレーナ付逆止弁の掃除をする際は、いきなりストレーナ付逆止弁をゆるめずに、流量調節栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P21



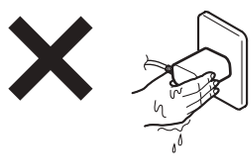
浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電の原因になります。



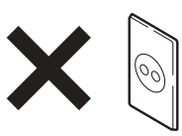
製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
特にACアダプター[別売]使用の場合は、火災や感電の原因になります。



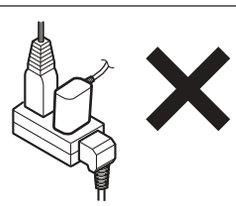
(ACアダプター[別売]使用の場合)
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
火災や感電の原因になります。



(ACアダプター［別売］使用の場合)
直流電源や異電圧の電源での使用は避けてください。
火災の原因になります。



（ACアダプター［別売］使用の場合）
コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。
火災の原因になります。



⚠警告

（ACアダプター［別売］使用の場合）

ACアダプターについたホコリは、取り除いてください。

ACアダプターにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

(ACアダプター［別売］使用の場合)

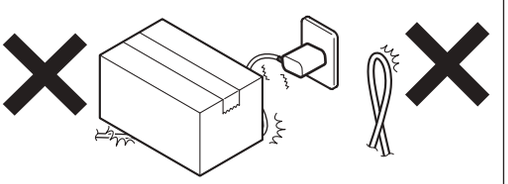
ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。

火災や感電の原因になります。

(ACアダプター［別売］使用の場合)

電源コードを折り曲げたり、重いものを載せるなど乱暴に扱わないでください。

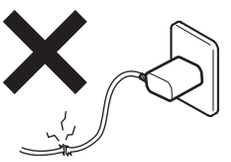
火災や感電の原因になります。



(ACアダプター［別売］使用の場合)

電源コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

火災や感電の原因になります。



（ACアダプター［別売］使用の場合）

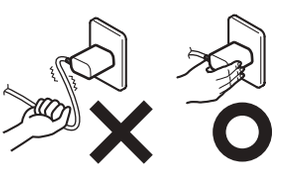
雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。

感電の原因になります。

(ACアダプター［別売］使用の場合)

ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。

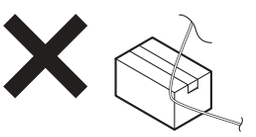
火災や感電の原因になります。



(ACアダプター［別売］使用の場合)

収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように注意してください。

コードが断線し、感電・故障の原因となります。



⚠注意

飲用に使用しないでください。

使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。

しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、においことがあります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や漏水の原因になります。

⚠注意

(樹脂メッキ付部品の場合)

樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる　●衝撃を与える　●落とす

メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。
万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

・ハンドル、レバー
・整流器　　など

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。

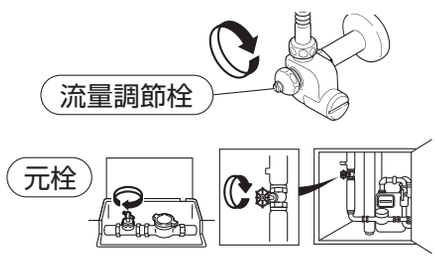
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P20

解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

長期間使用しない時は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。

水漏れなどの事故の原因になります。

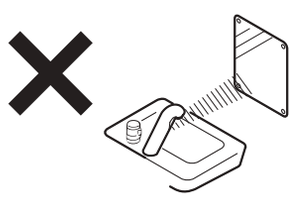


直射日光の当る場所で使用しないでください。

誤作動の原因になります。

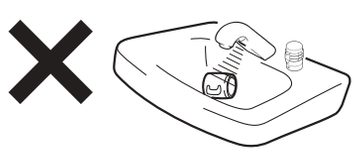
センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。

誤作動の原因になります。



感知領域内に障害物が入らないようにしてください。

誤作動の原因になります。

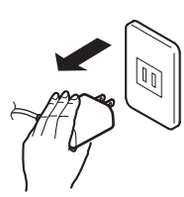


使用する時は、吐水口をふさがないでください。

（ACアダプター[別売]使用の場合）

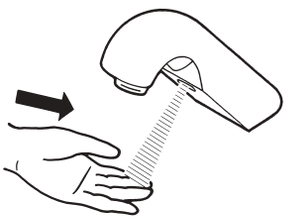
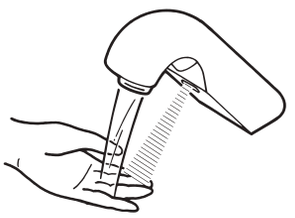
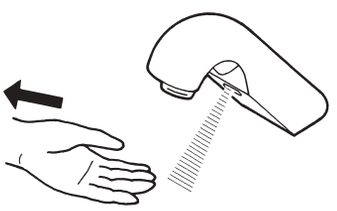
長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

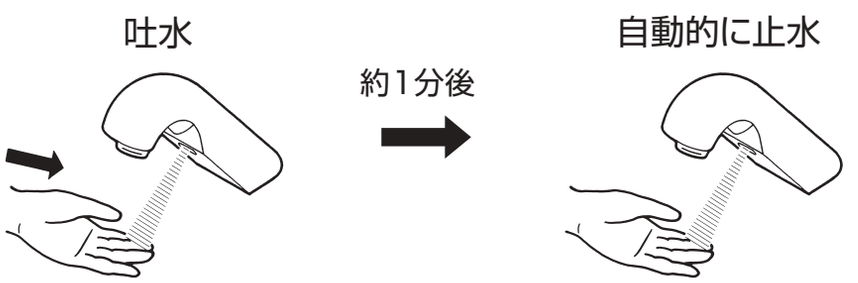
誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



ご使用について　吐水・止水

差し出された手を感知すると自動吐水し、遠ざけると自動止水します。

1 感　知		水栓内のセンサーが吐水口下の手を約0.5秒以内で感知します。
2 吐　水		手を感知した回路から、感知信号が駆動部へ送られ電磁弁が開き、水が出ます。
3 止　水		感知しなくなって約1秒後に自動止水します。

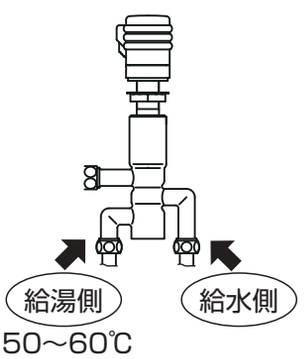
自動 止水機能	 ●約1分間連続感知すると自動的に止水します。

ご使用について　温度調節方法

■ 給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度は、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃設定をおすすめします。

給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。

※本製品はやけど防止のため、安全ボタンを押してH最大まで回しても水が混ざる構造となっており、H最大まで回しても給湯機の設定温度より低温の湯が出ます。



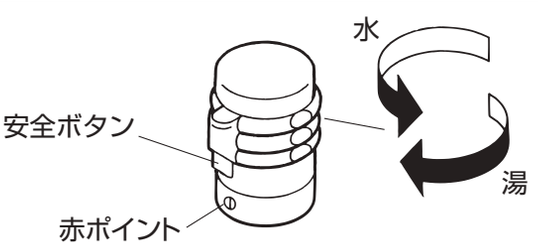
設定・調整作業は承っておりますが、有料作業となります。
（作業費として、「技術料」＋「部品代」＋「出張料」を請求させていただきます。）
実作業を伴わずに復旧した場合は、「出張料」のみの請求となります。

温度調節

目盛を赤ポイントに合わせる。

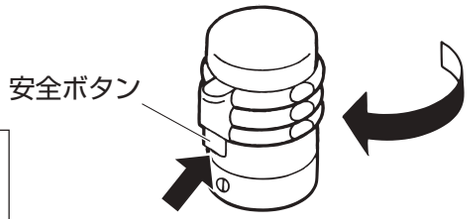
数字は温度の目安としてご使用ください。

ハンドルを左に回す ⟶ 温度が下がる
ハンドルを右に回す ⟶ 温度が上がる



高温の使用

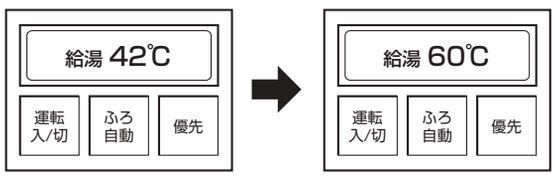
安全ボタンを押して回す。



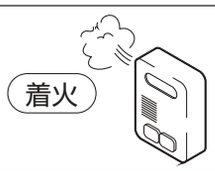
⚠ 注意

●安全ボタンを押さずに回すと器具を破損するおそれがあります。
●高温の湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを40以下に戻してしばらく水を流してください。

※安全ボタンを押して温度調節ハンドルを回しても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を50～60℃に設定 した後、水栓側の温度調節ハンドルをH側へ回してください。



（注）水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。
この場合には、水栓側のハンドルを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

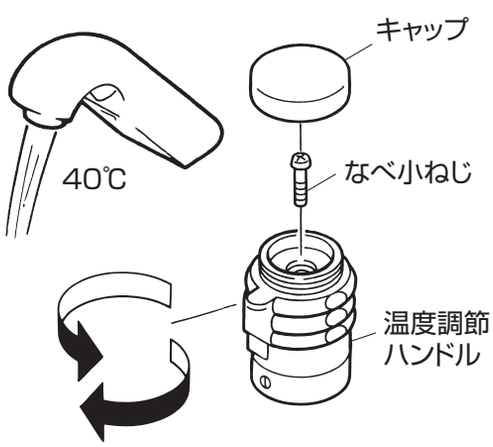


ご使用について　器具の温度調整方法

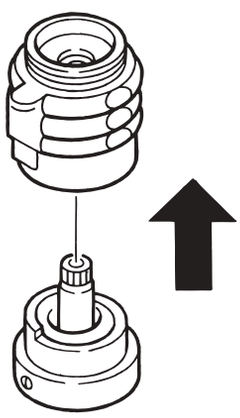
器具は出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の調整を行ってください。

1 給湯機の給湯温度を設定します。
給湯温度の設定についてはP17～18を参照してください。

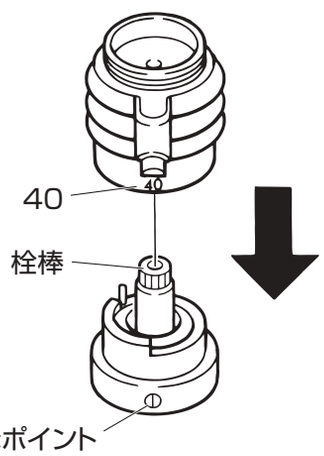
2 温度調節ハンドルのキャップ、なべ小ねじをはずし、目盛と関係なく吐水温度が適温（およそ40℃）になるように回します。



3 吐水温度が適温（およそ40℃）になる位置で温度調節ハンドルをはずします。



4 目盛の40の文字と赤ポイントを合わせて、温度調節ハンドル取付けます。



⚠ 注意

●温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒を回さないようにしてください。
●目盛・数字とも目安としてご使用ください。
●温度調節ハンドル取付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開に回し、給湯機が着火しないことを確認してください。
着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。
●部品をなくさないように注意してください。

ご使用について　電池の取替え

乾電池が消耗すると、センサー感知窓の赤ランプが10秒毎に点滅します。

赤ランプ点滅

■ 第一段階

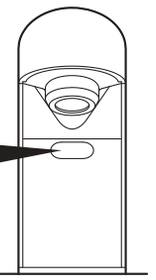
10秒　10秒

乾電池が消耗すると赤ランプが1回点滅します。
点滅開始後、約1000回あるいは10日間程度は使用可能ですが、早めに新しい乾電池と取替えてください。

■ 第二段階

10秒　10秒

赤ランプが2回点滅になると作動しなくなります。
新しい乾電池と取替えてください。

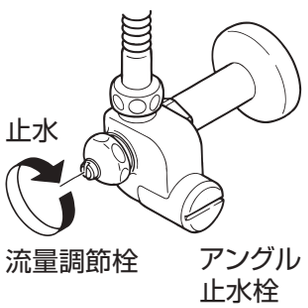


乾電池（市販）‥‥アルカリ乾電池
（単3×4本）

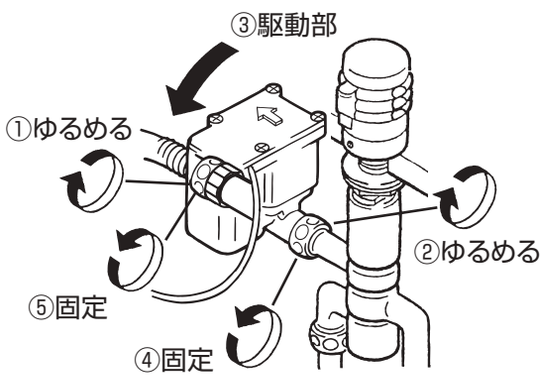
⚠ 注意

- センサー感知窓や電源部とコード接続部が水に濡れたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。

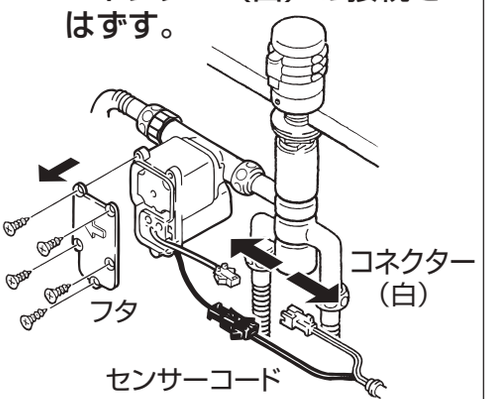
1　アングル止水栓の流量調節栓を右に回し、止水します。



2　駆動部の上部（フタ）を手前に向け固定する。



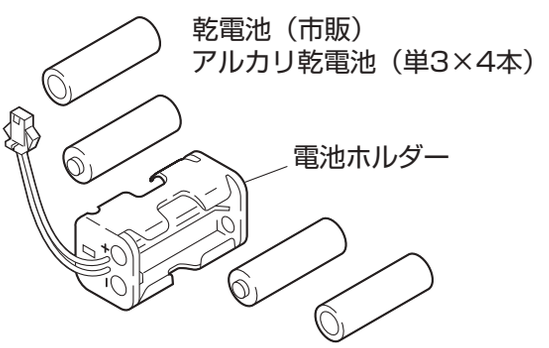
3　駆動部のフタをはずし、コネクター（白）の接続をはずす。



3　電池ホルダーを引出し、乾電池を取替えます。

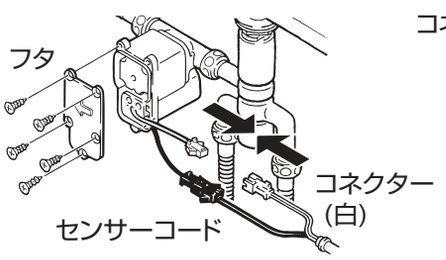
お願い

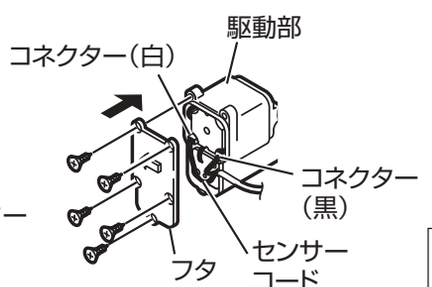
- 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の方向に注意してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った乾電池は、早めに取出してください。
- 充電式の乾電池は使用しないでください。
- 乾電池に記載の注意事項をお守りください。



4　コネクターを接続します。

（1）　電池ホルダーを駆動部に入れ、コネクター（白）を接続し、収納した後、フタを取付けてください。





⚠ 注意

センサーコード接続時、コネクターは必ず駆動部内部に収納してください。

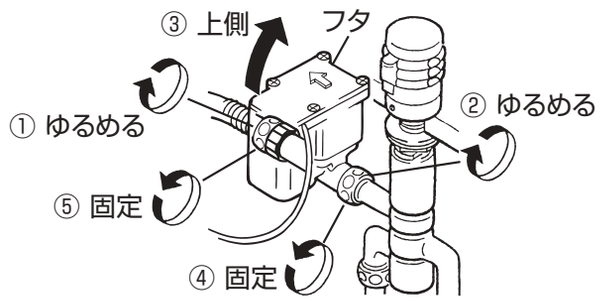
（2）　コネクター接続後、赤ランプが3回点滅した後、消灯します。

3回点滅後消灯

⚠ 注意

赤ランプ点滅中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。
誤作動の原因になります。

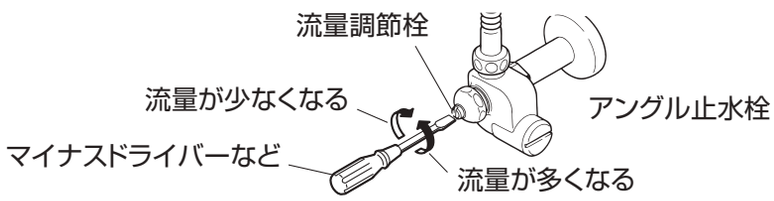
5　フタのついた面を上側にして固定します。



点検……乾電池取替え後、止水栓のハンドルを開け通水し、作動点検をしてください。
40℃でない場合は吐水温度の調整が必要です。 参考：P17～18

ご使用について　流量調節

ドライバーで回す事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。



ご使用について　凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

●配管部などに保温材を巻いてください。
●屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

日頃のお手入れ　汚れの拭き取り

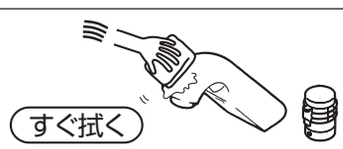
製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意

●中性洗剤以外は使用しないでください。
中性洗剤以外を使用すると変色や破損のおそれがあります。
●お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
【使用してはいけないもの】
・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
・ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
・クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
・ナイロンたわし・メラミンフォームなど
製品の割れや変色変質の原因となります。

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
製品の割れや変色変質の原因となります。



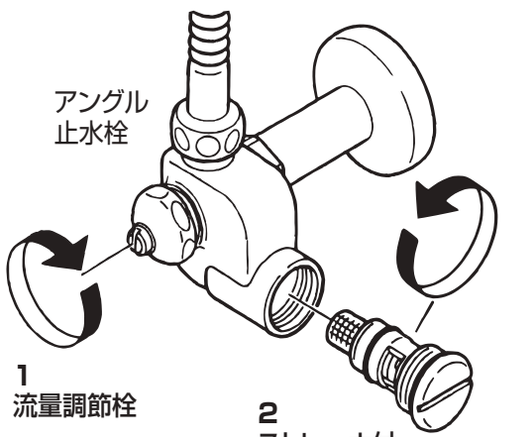
日頃のお手入れ　ストレーナ付逆止弁・吐水口の掃除

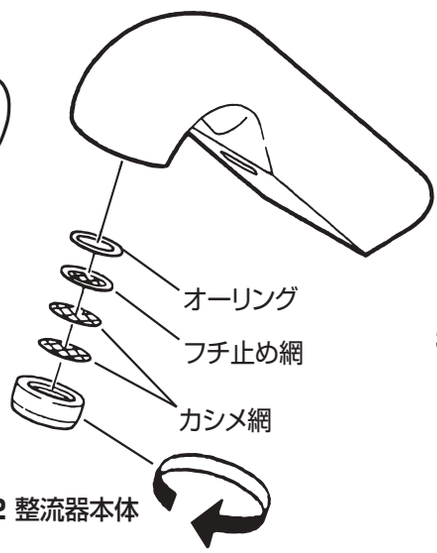
ストレーナ付逆止弁・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
（近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。）

1　流量調節栓を右に回し、止水します。
2　ストレーナ付逆止弁・整流器本体をはずします。
3　ハブラシなどで網部分を掃除します。

⚠ 注意

- センサー感知窓や電源部とコード接続部が水に濡れたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。
- 部品が排水口に落ちないよう、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。



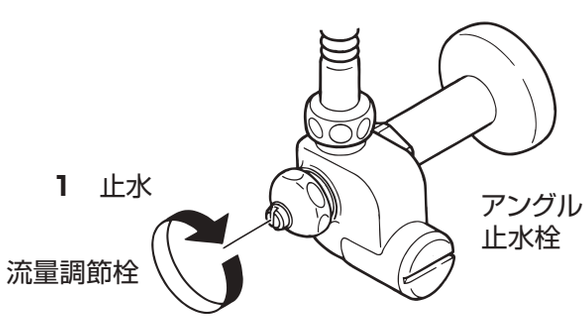


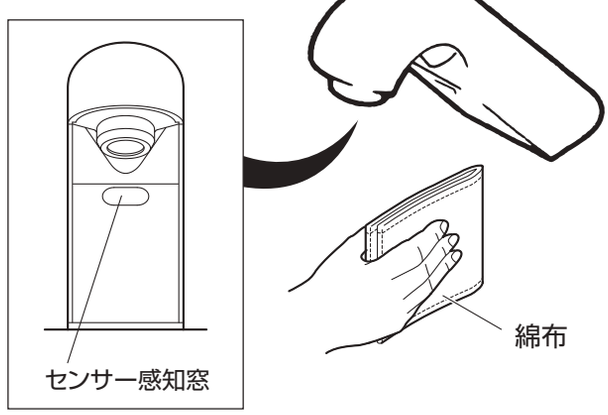
再使用時

ストレーナ付逆止弁・整流器本体が確実に閉まっているか確認してください。

日頃のお手入れ　センサー窓の掃除

1　流量調節栓を右に回し、 止水します。
2　水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。
汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。





⚠ 注意

拭き取り時にセンサー面に傷をつけないでください。

定期的な点検　可動部分の点検

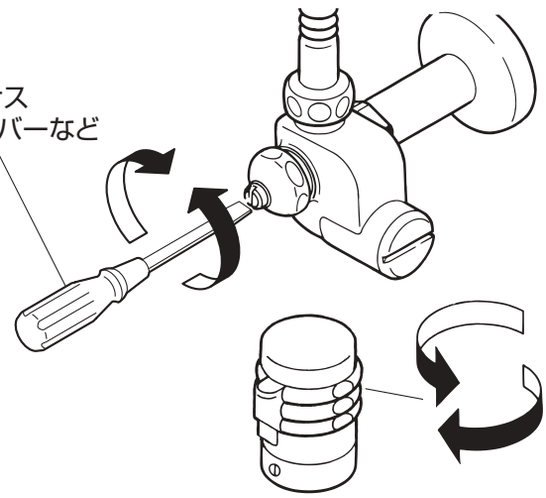
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。
放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」（P26）を参照し、修理をご依頼ください。
温度調節ハンドル・流量調節栓の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき温度調節ハンドル・流量調節栓を回してください。（月1回を目安）

流量調節栓を回す際は設定位置を確認し、回した後に元の位置に戻してください。**参照：P20**

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。
流量調節栓を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

温度調節ハンドル・流量調節栓が回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検　配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。

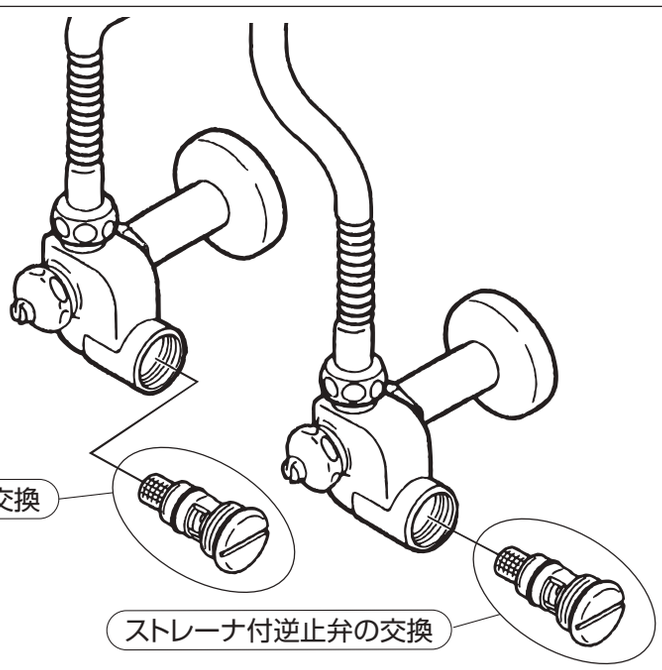
修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照してください。

定期的な部品交換　ストレーナ付逆止弁の交換時期

ストレーナ付逆止弁の交換時期
の目安：3～5年

万が一、ストレーナ付逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※ストレーナ付逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P26) を参照してください。



こんなときは　故障？　その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
作動しない。	乾電池が入っていますか。	乾電池を入れる。　参照：P19～20
	乾電池の+−が違って入っていませんか。	乾電池を正確に入れる。　参照：P19～20
	電池切れではないですか。	新しい乾電池を入れる。　参照：P19～20
	ACアダプター(別売)はコンセントに差し込まれていますか。	ACアダプターを確実にコンセントに差し込んでください。　参照：P11
センサーが反応しない。 〔正常 乾電池をはめ込んだ直後、赤ランプが3回点滅します。〕	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取除き、乾電池を入れ直す。(設定リセットのため)　参照：P19～20
	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。　参照：P21
	コネクターの接続が不十分ではありませんか。	コネクターを一度はずし、再度接続する。参照：P10～11
センサーは反応するが湯水が出ない。	流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓を開く。　参照：P20
	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取除き、乾電池を入れ直す。(設定リセットのため)　参照：P19～20
	水圧が使用範囲より高くありませんか。	配管などに減圧弁を設置して水圧を下げる。　参照：P5
湯水の出が悪い。	ストレーナ・整流器にゴミが詰まっていませんか。	ストレーナ付逆止弁・吐水口の掃除をする。　参照：P21
湯水が止まらない。	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取除き、乾電池を入れ直す。(設定リセットのため)　参照：P19～20
	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。　参照：P21
センサーが勝手に反応する。	センサーの近くに反射物はありませんか。	センサーの近くの反射物などを取り除く。　参照：P4
	直射日光が入っていませんか。	直射日光が入らないようにする。
湯水が勝手に出る。	インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。	誤作動の原因となる機器を取り除く。　参照：P4
通常より手を近づけないと反応しなくなる。	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。　参照：P21

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。

流量調節栓の閉め方

「流量調節」を参照してください。
参考：P20

元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左回しの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

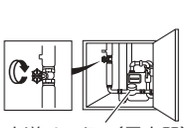
●キー式

止水栓キー
SANEI品番：
PR30A
(止水栓キー)

●ハンドル式

水道メーター(量水器)

■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

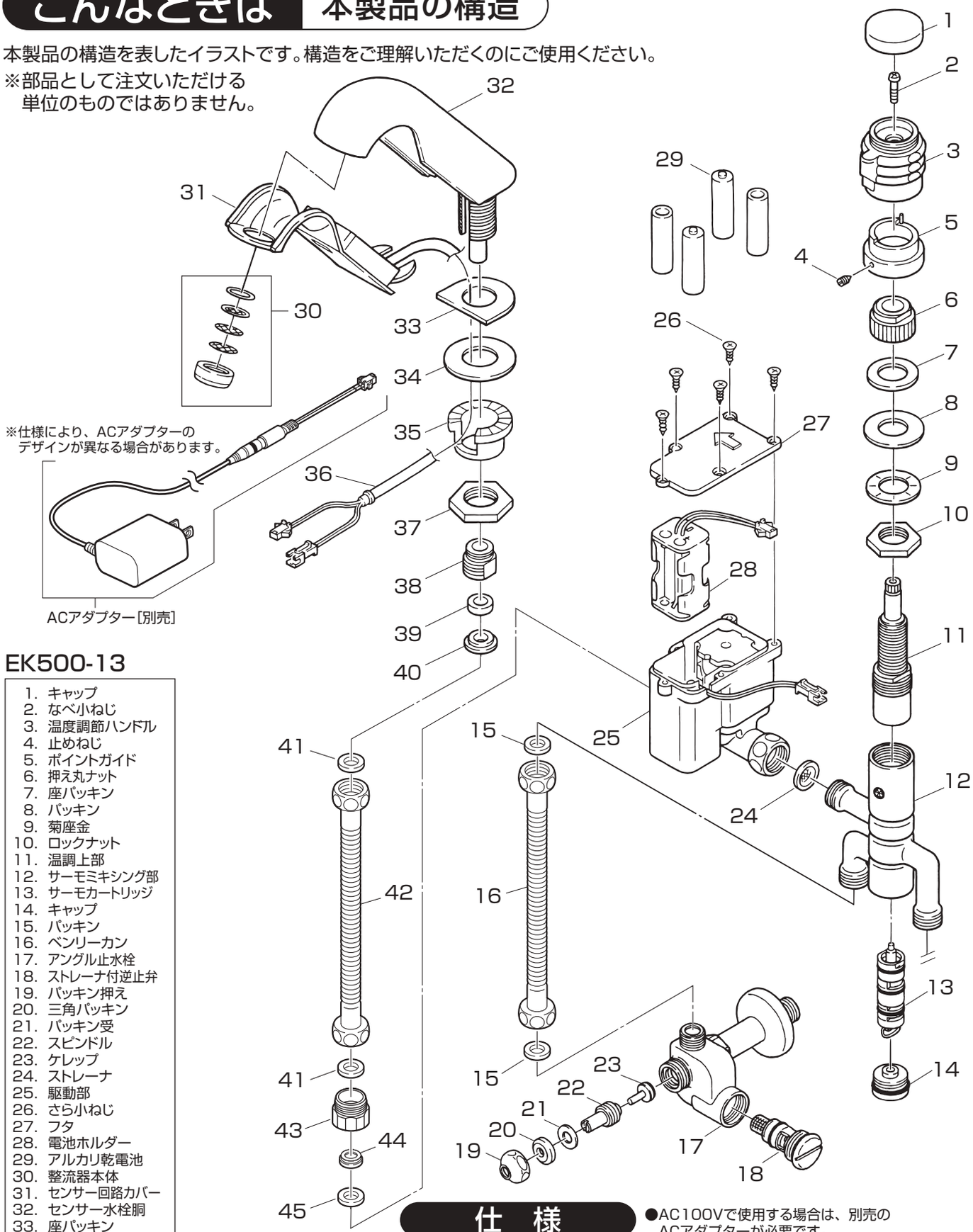


水道メーター(量水器)

こんなときは　本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

※部品として注文いただける
　単位のものではありません。



EK500-13

1. キャップ
2. なべ小ねじ
3. 温度調節ハンドル
4. 止めねじ
5. ポイントガイド
6. 押え丸ナット
7. 座パッキン
8. パッキン
9. 菊座金
10. ロックナット
11. 温調上部
12. サーモミキシング部
13. サーモカートリッジ
14. キャップ
15. パッキン
16. ベンリーカン
17. アングル止水栓
18. ストレーナ付逆止弁
19. パッキン押え
20. 三角パッキン
21. パッキン受
22. スピンドル
23. ケレップ
24. ストレーナ
25. 駆動部
26. さら小ねじ
27. フタ
28. 電池ホルダー
29. アルカリ乾電池
30. 整流器本体
31. センサー回路カバー
32. センサー水栓胴
33. 座パッキン
34. パッキン
35. スペーサー
36. センサーコード
37. ロックナット
38. アダプター
39. パッキン
40. パッキン受
41. パッキン
42. ベンリーカン
43. 定流量弁本体
44. 定流量弁コア
45. パッキン

仕　様

●AC100Vで使用する場合は、別売の
　ACアダプターが必要です。

型　式	EK500-13
電　源	アルカリ乾電池　単3(LR6)×4本
最大感知距離	初期設定距離　約50～150mmの間に自動調整
検知時間	0.5秒
連続吐水時間	最大1分(使用者の手を1分間以上連続感知した時に自動閉止)
弁方式	自己保持型電磁弁方式(パイロット方式パルス通電開閉弁)
給水圧力	0.05MPa ～ 0.75MPa
使用温度	水温：0～50℃水道水(凍結不可)
給水部接続	取付ねじ　R(PT)1/2
乾電池寿命	100回/日として約2年(アルカリ乾電池使用)

MEMO

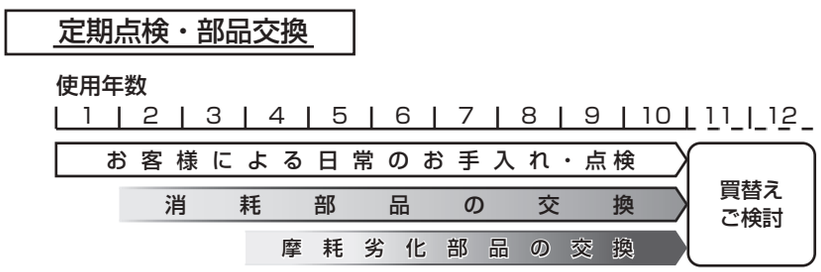
保証とアフターサービス

〔保証について〕

●この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
●保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
●保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)



日頃のお手入れについてはP20～21、定期的な点検についてはP22をご確認ください。

消耗部品とは、使われてなくなっていく部品のことです。
消耗部品の例：アルカリ乾電池 など
摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例：電磁弁・電装部品 など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP24を参照してください。

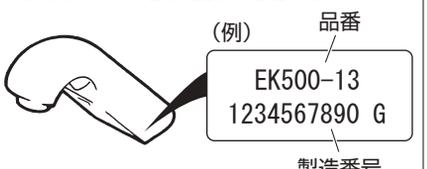
〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

●修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
●連絡していただきたい内容：■住所、氏名、電話番号
■品番、品名
■お買上げ(お取付け)年月日
■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
■訪問希望日

品番を確認するには、水栓の右側面に貼付のシールをご確認ください。



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

SANEI 株式会社
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd

SANEI

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。
必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品　番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間（お買上げ日/お取付け日から）
	本　体	2ヵ年
お買上げ日（お取付け日）	年　月　日	
お客様	お名前　見　本　様 ご住所 電話　（　）	

販売店 工事店	店名　住所 電話　（　）

＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （１）使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
   （２）温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
   （３）お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
   （４）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
   （５）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
   （６）消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
   （７）施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
   （８）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
   （９）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
   （10）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
   （11）砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
   （12）寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   （13）本書の提示がない場合
   （14）本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問い合わせください。

★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

修理メモ

SANEI 株式会社
〒537-0023　大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問い合わせ先　　☎ 0120-06-9721
受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd